

平成 22 年度

東京都教職員研修センター紀要

第 10 号

平成 23 年 3 月

はじめに

これからのグローバル化する社会では、多様な考え方や価値観をもつ人々との間で相互理解を深め、様々な人々と協力、協働しながら社会に貢献することができる創造性豊かな人材を育成することが大きな課題となっています。

東京都教育委員会では、このような課題に対応するために「東京都教育ビジョン（第2次）」（平成20年5月）を策定し、今後5年間に取り組むべき重点施策とその実現に向けた具体的な推進計画を示しました。その中で、子供たちが新しい社会を切り拓いていくためには、とりわけ「他者との人間関係を築く力」の重要性について示しています。そして、子供たちが様々な人々と人間関係を築いていくためには、相手の考えや気持ち、立場などを「想像」し、新たな関係や社会を「創造」していく力を身に付け、積極的にコミュニケーションを行う能力の育成や思いやりのある豊かな人間性などの育成が必要であるとしています。

そこで、東京都教職員研修センターでは、「自尊感情や自己肯定感に関する研究（第3年次）」と「言語活動の充実に関する研究」に取り組み、子供の自尊感情や自己肯定感を高めることと子供の言語活動の充実を図ることの二つの視点から、「他者との人間関係を築く力」を育成することを目指しました。本紀要は、その研究成果を集約したものです。「自尊感情や自己肯定感に関する研究（第3年次）」については、子供の自尊感情の傾向を把握する方法やその結果の活用について掲載しています。また、「言語活動の充実に関する研究」については、教科等における言語活動の充実を図る指導の在り方や効果的な校内研究の進め方等について掲載しています。

さらに、今年度は、「東京都公立幼稚園5歳児の運動能力に関する調査研究」を行いました。本調査研究は、昭和55年度から3年ごとに実施しているもので、今年度で11回目となります。本紀要では、東京都の子供の運動能力の実態を明らかにし、幼児期の健康・体力づくりに関わる各幼稚園での指導・援助等の状況や取組事例を示しました。

各教育委員会や学校におかれましては、本紀要に掲載した研究内容等を教育課程の工夫・改善や教職員の資質・能力の向上、家庭や地域に対する啓発など、様々な教育課題の解決に向けて活用していただければ幸いです。

結びに、当センターの教育課題研究の推進にあたり、調査や検証授業に御協力いただいた各教育委員会や学校・幼稚園、多くの御示唆や御助言をいただいた協議委員の方々に御礼を申し上げます。

平成23年3月

東京都教職員研修センター所長
岩佐哲男

目 次

自尊感情や自己肯定感に関する研究（第3年次）	3
言語活動の充実に関する研究	29
東京都公立幼稚園5歳児の運動能力に関する調査研究	55

